

会議議事録

事業名	令和6年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」事業 (2)教職員の資質能力向上の推進① 効果的な教育成果の公開方法等に関する支援体制づくりの推進
代表校	一般社団法人全国専門学校教育研究会

会議名	第4回授業改善サポーター育成講座開発委員会
開催日時	令和6年12月20日(金) 15:00~17:00
場所	オンライン
出席者	事業責任者：岡村 慎一 <u>計1名</u> 委員：小田 政江、合田 美子、足立 隆、猪俣 昇、 半田 純子、吉橋 大樹 <u>計6名</u> 請負業者：飯塚 正成 <u>計1名</u> <u>合計8名</u>
議題等	①暫定版授業改善サポーター養成講座 講座終了後のチェックと改善アクション ・満足度高く研修が終了した(回を重ねるごとに満足度が上がった) ・時間が長いとの意見があったが、3時間で良いのではないか。2時間だと短すぎる(18時終了ではなく、17時30分終了でも良いかも) →13時~16時：参加しにくい(昨年度) →15時~18時：疲れている。トレードオフかもしれない。 ・対面希望の声があったが、オンラインでも悪くはないのでは？ ・2回目か3回目に対面研修にした方が仲が深まるのでは？(研修後にごはんに行ってコミュニケーションを深められる) ・事前課題の量が多いとの声が多かったが、変えない方が良い ・この研修効果を確認するためには、半年後などに組織的に動けるようになったかを確認する必要がある。 ・授業時間を調整して参加する先生が多かった。 ・研修前に、上司の期待値確認を事前に行っていたのは良かった。しかし、授業改善サポーター養成講座の講座内容のイメージがわからない、といった上司からのフィードバックもあった。 →授業改善サポーター養成講座の成果を上司に直接伝える機会があると良い (このような研修に今後手を挙げやすい雰囲気になる上、上司も参加

	<p>させようと思える)</p> <p>・以下のようなストーリーがあっても良いのでは？(以下、吉橋先生投稿)</p> <p>第一段階(過去)</p> <p>：モジュール ABC を理解した</p> <p>第二段階(現在)</p> <p>：現在の自校の自分以外の授業の現状を確認し、よい点と悪い点を整理できる</p> <p>：モジュール ABC や自校独自の基準などを用いて改善案が提案できる</p> <p>第三段階(未来)</p> <p>：①該当の授業の改善が見込めた(数値で前後比較が出来る)</p> <p>：②継続した取り組みが実施出来ている</p> <p>：③組織まで動かして</p> <p>：④他校まで巻き込んで改善の取り組みができる</p> <p>→KBC はすでに組織単位での授業改善を実施している。組織単位で授業改善をしている学校とそうでない学校の比較をすると良いのではないか。</p> <p>(組織単位での授業改善を実施している学校の方が、授業改善サポーター養成講座の成果は上がるのではないか？仮説)</p> <p>②事後評価の方法</p> <p>・授業改善サポーターの目標は以下の通り</p> <p>①改善サポーターとして、各種ツールを活用して授業改善のためのコンサルテーションを行うことができる</p> <p>②自校における授業コンサルテーションの普及を目指した施策を、個人レベル、組織レベルで提案することができる</p> <p>③授業改善サポーターとして相談し支援し合えるコミュニティを形成する</p> <p>→①は自己評価で可能だが、②は半年後等に上司にインタビューする必要があるかもしれない</p> <p>・1週間後に自己評価が出るが、半年後の受講生の行動を評価するのが良いのでは？</p> <p>(昨年度の受講生を8月にインタビュー調査したところ、先生各自で授業改善サポーターに該当する活動を行っていた)</p> <p>・看護系の先生にて「モジュール A の IT/ビジネス系専門学校の事例は身近な事例ではなかった」との声があった。専門学校で取り扱う専門分野が広いため限界があるが、なるべく寄り添う方が良いかも。</p> <p>→今回の受講生に事例を募るのも良いのでは？(モジュール自体や課</p>
--	--

	<p>題そのものを増やすということではない)</p> <p>③授業改善サポーター養成講座 2024 年版（専門学校教員版）のコミュニケーションツールについての振り返り</p> <ul style="list-style-type: none">・グループLINE の頻繁な活用は無かった（田中さんのみ） <p>→最初はメールでのやりとりの方が良いかもしれない。</p> <p>→ただし、LINE の方が使いやすいかもしれない。</p> <p>（Slack を作ってやりとりをするグループもあった）</p> <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none">・作成したツールを共有/紹介する置き場があると良い。何かできないか？ <p>→ツール作成者の許諾と置き場（全専研 Web サイト）の許諾を取る必要がある</p> <p>（猪俣とも相談）</p> <ul style="list-style-type: none">・去年の受講生成果物は熊本大学 LMS に残っている・委託事業が自立して取り組めるようにしたい <p>: 金額、講師は誰がやるか？いくらで行うか？など。最低3年は自立的に継続していきたい。どのようにするか？</p> <p>: 授業改善サポーター養成講座を実施してもらえそうな土壌づくりが必要</p> <p>: 授業改善サポーター養成講座の効果を適切に発信する必要がある</p> <ul style="list-style-type: none">・第五回 WG <p>: 1月20日（月）10時～12時@山口対面（YIC スタジオ）</p> <p>: 今年度のプログラムと成果物の確定</p> <ul style="list-style-type: none">・第六回 WG <p>: 2月18日（火）15時～17時@福岡対面（麻生塾）</p> <p>: 次年度の改善と報告ビデオについて</p>
配布資料	・第4回 授業改善サポーター養成講座開発委員会次第